



景気動向調査結果

(令和2年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 2 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 2 年 8 月に面接等によるヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、448 社（製造業 243 社（うちヒアリング 63 社）、非製造業 205 社）で、回答率は 64.0 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和2年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い業種で需要の減少が続いており、引き続き厳しい状況となっています。

製造業の業況は、自動車関連を中心に、新型コロナウイルス感染症による国内外の影響などを受けて低迷しており、8期連続のマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しさは残るものの、建設業や小売業などで回復に向けた動きがみられたため、全体ではマイナス水準ながらも2期ぶりに改善しました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和元年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 73.0$ となり、前回調査時（令和2年4月）の $\Delta 62.0$ から11.0ポイント悪化し、8期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和2年4月）と比較したD Iは $\Delta 49.8$ となり、前回調査時の $\Delta 59.1$ より9.3ポイント改善したものの、8期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和2年10月）の予想では、D Iは $\Delta 30.8$ となり、9期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、昨年の買い替え需要の反動減から受注、生産が弱含んでいます。プリンターは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産に弱さがみられます。半導体関連は、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産が弱含んでいます。抵抗器・コンデンサ等は、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産が弱含んでいるものの、情報通信関連向けで回復に向けた動きがみられます。

イ 一般機械では、半導体関連向けで、一部に回復に向けた動きがみられるものの、自動車関連向けでは、新型コロナウイルス感染症などの影響から、受注、生産に弱さがみられます。建設機械は、国内向けで、レンタル需要の減少などにより、受注、生産に弱さがみられます。北米や欧州など海外向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷から、受注、生産が減少しています。レンズは、自動車関連向けで受注、生産が弱含んでいるほか、プロジェクター向けなどで、需要の減少により受注、生産に弱さがみられます。計器では、圧力計は、半導体関連向けで回復の動きがみられるものの、産業機械向けや自動車向けで、受注が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、国内向け、海外向けともに、一部に回復に向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が低迷しています。

オ 食料品では、味そは、外出自粛による家庭用需要の増加がみられるものの、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、外出自粛の影響により、家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は外出自粛の影響による需要の減少がみられるものの、季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が11.6%と前回(13.1%)より減少し、「減少」とする企業が76.3%と前回(69.2%)より増加した結果、D Iは前回(△56.1)より悪化し、△64.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が15.7%と前回(14.8%)よりやや増加し、「減少」とする企業が56.6%と前回(65.3%)より減少した結果、D Iは前回(△50.5)より改善し、△40.9となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が15.5%、「減少」とする企業が43.7%となった結果、D Iは△28.2となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が14.6%と前回(16.0%)より減少し、「減少」とする企業が71.7%と前回(63.7%)より増加した結果、D Iは前回(△47.7)より悪化し、△57.1となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が15.5%と前回(17.8%)より減少し、「減少」とする企業が58.2%と前回(56.8%)より増加した結果、D Iは前回(△39.0)より悪化し、△42.7となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が17.0%、「減少」とする企業が40.4%となった結果、D Iは△23.4となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.4%と前回(4.7%)よりやや増加し、「安い」とする企業が17.4%と前回(15.7%)より増加した結果、D Iは前回(△11.0)よりやや悪化し、△12.0となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が2.5%と前回(1.7%)よりやや増加し、「安い」とする企業が7.9%と前回(9.4%)より減少した結果、D Iは前回(△7.7)より改善し、△5.4となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.9%、「安い」とする企業が8.8%となった結果、D Iは△5.9となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が8.9%と前回(6.4%)より増加し、「苦しい」とする企業が34.6%と前回(28.3%)より増加した結果、D Iは前回(△21.9)より悪化し、△25.7となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が8.1%と前回(5.2%)より増加し、「苦しい」とする企業が21.7%と前回(23.7%)より減少した結果、D Iは前回(△18.5)より改善し、△13.6となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が6.4%、「苦しい」とする企業が29.4%となった結果、D Iは△23.0となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が11.5%と前回(6.7%)より増加し、「低下」とする企業が58.4%と前回(55.9%)より増加した結果、D Iは前回(△49.2)より改善し、△46.9となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が9.5%と前回(6.3%)より増加し、「低下」とする企業が44.2%と前回(48.5%)より減少した結果、D Iは前回(△42.2)より改善し、△34.7となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が6.7%、「低下」とする企業が39.2%となった結果、D Iは△32.5となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、昨年の買い替え需要の反動減から、受注、生産が弱含んでいます。

プリンターは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産に弱さがみられます。

(半導体関連・プリント基板) パソコン向けで受注、生産に回復がみられるものの、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産が弱含んでいます。

(抵抗器・コンデンサ等) 産業用途や自動車関連向けで、受注、生産が弱含んでいるものの、情報通信関連向けでは回復に向けた動きがみられません。

(モーター等) 医療機器向けで回復に向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症による需要の減少から産業用途や自動車関連向け、航空機向けで、受注、生産が弱含んでいます。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の減少などにより、受注、生産が減少しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連向けは、一部に回復に向けた動きがみられるものの、自動車関連向けでは、新型コロナウイルス感染症などの影響から、受注、生産に弱さがみられます。

(金型) 自動車関連向けは、国内需要の減少などにより受注、生産が弱含んでいます。

(建設機械) 国内向けでは、レンタル需要の減少などにより、受注、生産に弱さがみられます。北米や欧州など海外向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

(農業用機械等) 新型コロナウイルス感染症による国内需要の減少などから、受注、生産が弱含んでいます。

精 密	
(時 計)	腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷から、受注、生産が減少しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで受注、生産が弱含んでいるほか、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産に弱さがみられます。
(計 器)	圧力計は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、産業機械向けや自動車向けで、受注が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。
自 動 車 部 品	国内向け、海外向けともに、一部に回復に向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が低迷しています。
食 料 品	
(味 そ)	外出自粛による家庭用需要の増加がみられるものの、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒 類)	清酒やワインは、外出自粛の影響により、家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。
(飲 料)	外出自粛の影響による需要の減少がみられるものの、季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、販売店の営業再開による回復の動きがみられるものの、季節的要因や外出自粛による需要の減少により受注、生産が弱含んでいます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、自動車関連向けで、受注、生産が弱含んでいます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和元年7月）と比較したD Iは $\Delta 60.7$ となり、前回調査時（令和2年4月）の $\Delta 73.2$ より12.5ポイント改善し、2期ぶりの改善となりました。

3か月前（令和2年4月）と比較したD Iは $\Delta 10.1$ となり、前回調査時の $\Delta 64.7$ より54.6ポイント改善しました。

また、3か月後（令和2年10月）の予想では、D Iは $\Delta 48.5$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、民間工事は設備投資需要などで慎重な動きがみられたものの、公共工事は災害関連工事などの土木工事が増加したため、客数（受注件数）D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 13.8$ と前回（ $\Delta 35.5$ ）より大幅に改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 10.0$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、ソフトウェア開発関連の設備投資需要などで慎重な動きがみられたことなどから、客数（受注件数）D I、収益率D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 30.0$ と前回（ $\Delta 27.3$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 50.0$ です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症の防止による家庭用需要の増加などから、食料品の売上げが堅調だったほか、衛生用品の売上げが増加したことから、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 58.5$ と前回（ $\Delta 82.4$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 57.8$ です。

エ 卸売業

卸売業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資需要などで慎重な動きがみられたことなどから、客数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 86.4$ と前回（ $\Delta 57.1$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 57.1$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き需要は低調であるものの、地域観光クーポンやプレミアム付き商品券などの効果もみられたことから、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 92.4$ と前回（ $\Delta 100.0$ ）より低水準ながら改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 48.0$ です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き観光需要は低調であるものの、長野県民支えあい観光キャンペーンなどの効果もみられたことから、売上高D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 93.3$ と前回（ $\Delta 100.0$ ）より低水準ながら改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 57.2$ です。

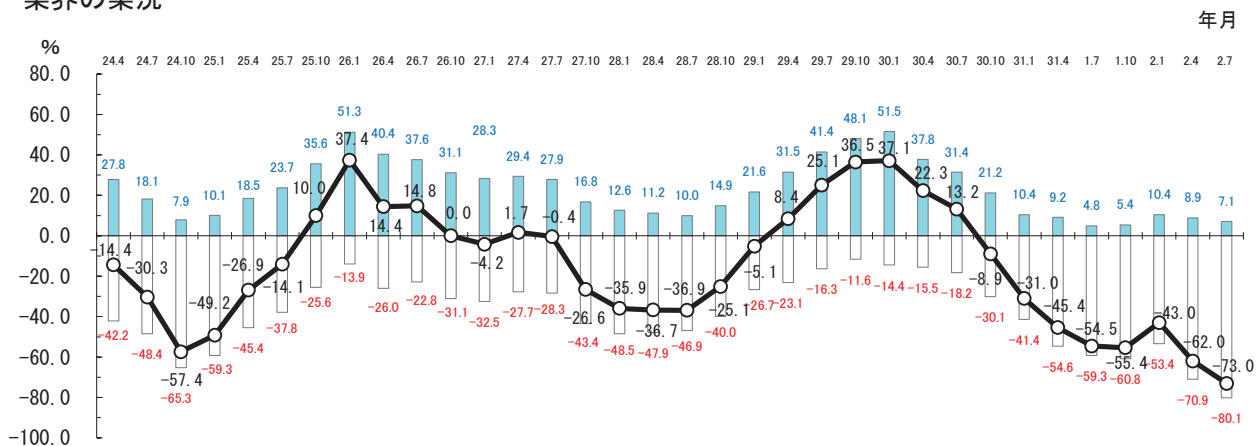
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

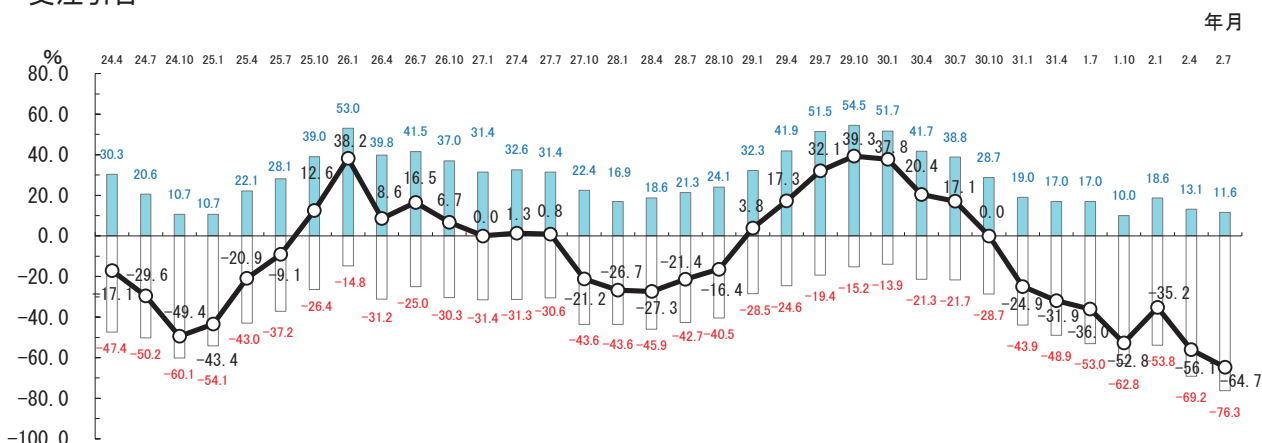
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

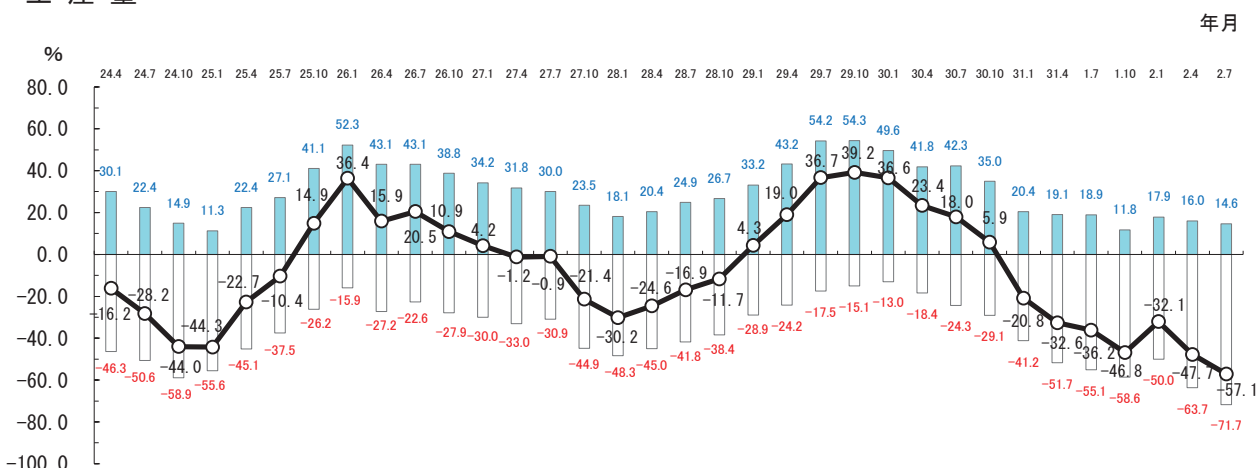
業界の業況



受注引合

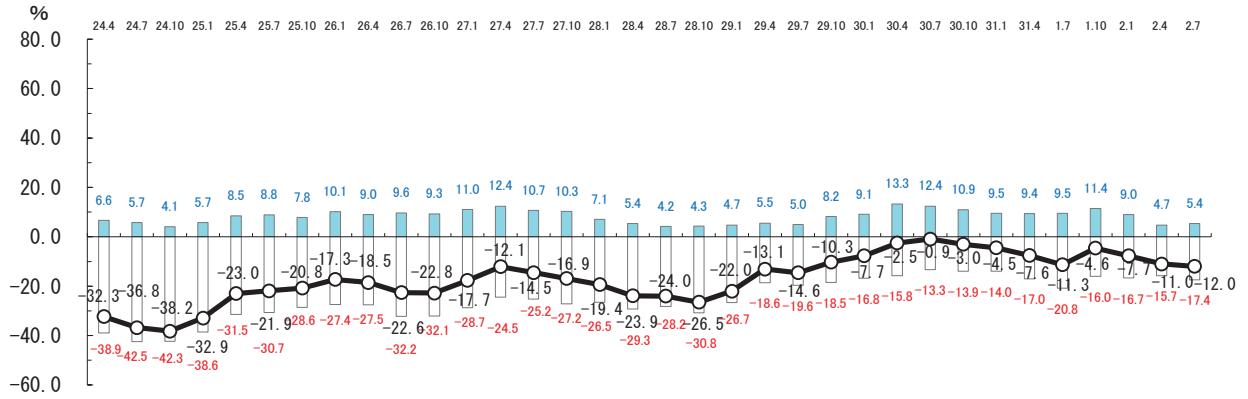


生産量



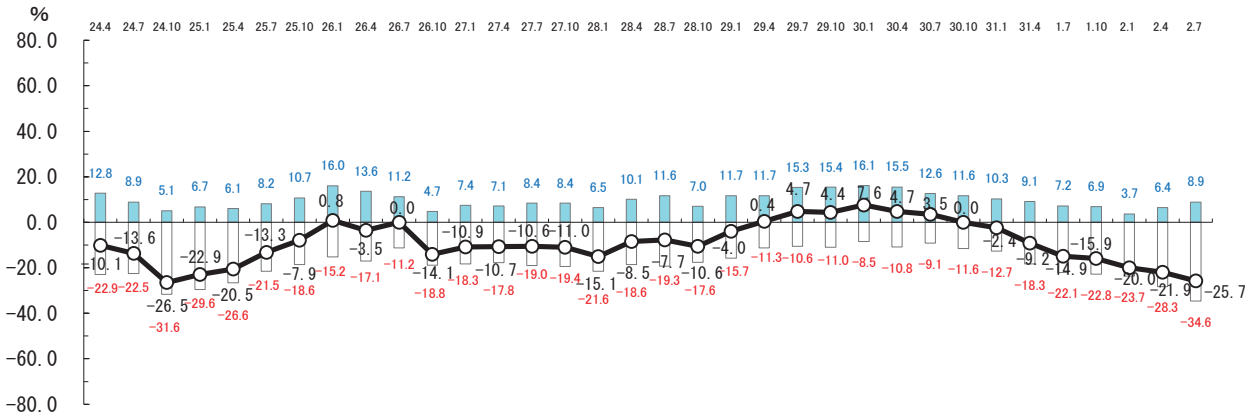
製品販売価格

年月



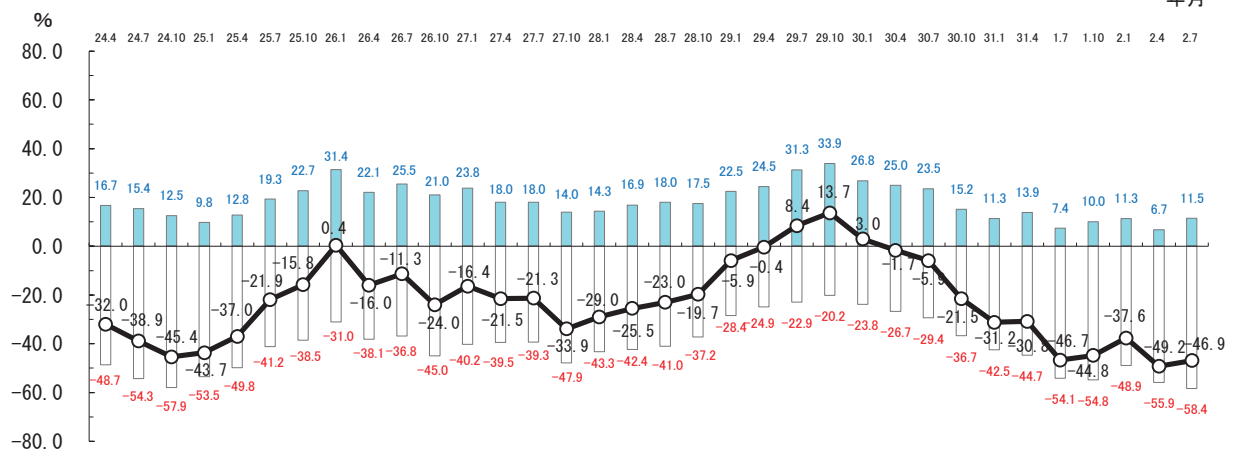
資金繰り

年月



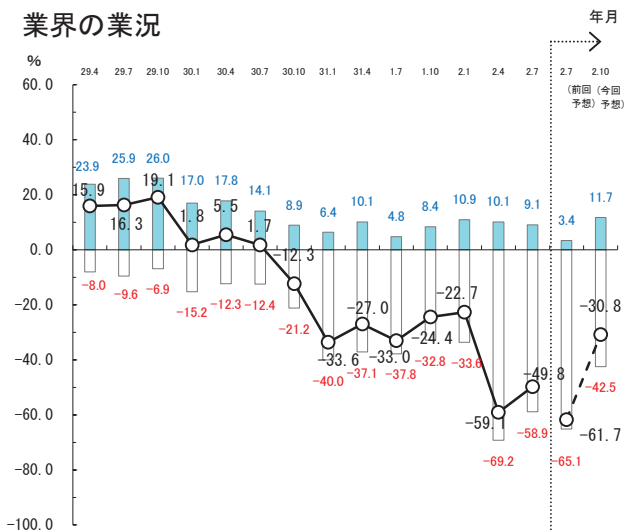
収益率

年月

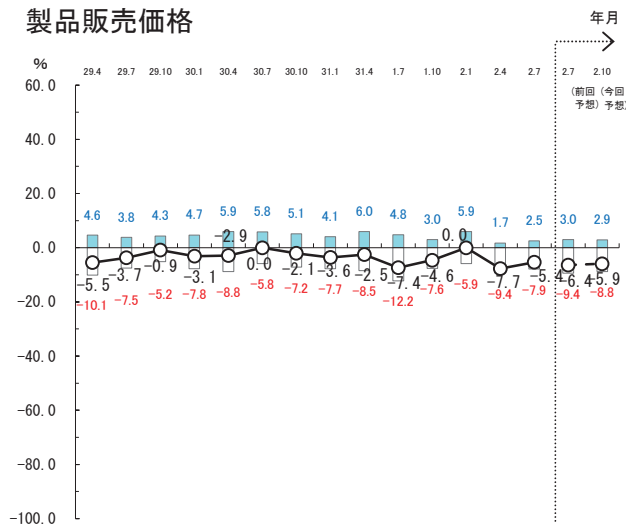


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

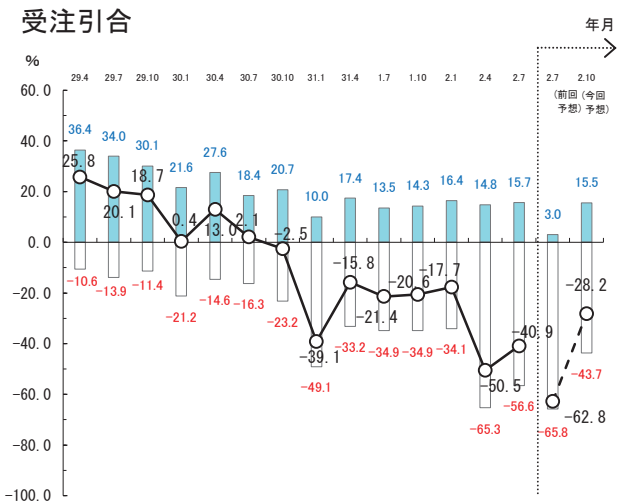
業界の業況



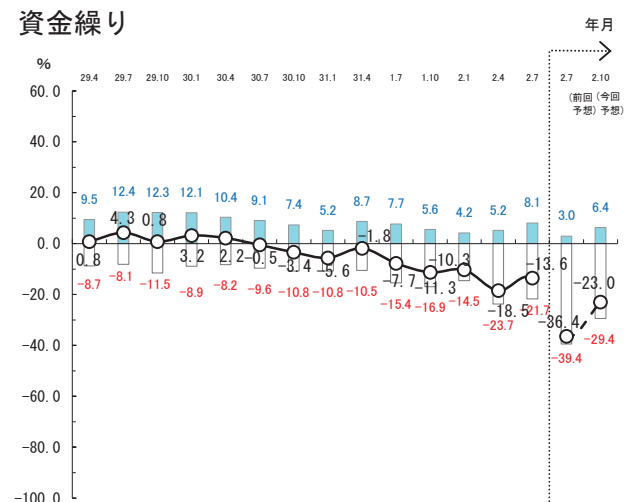
製品販売価格



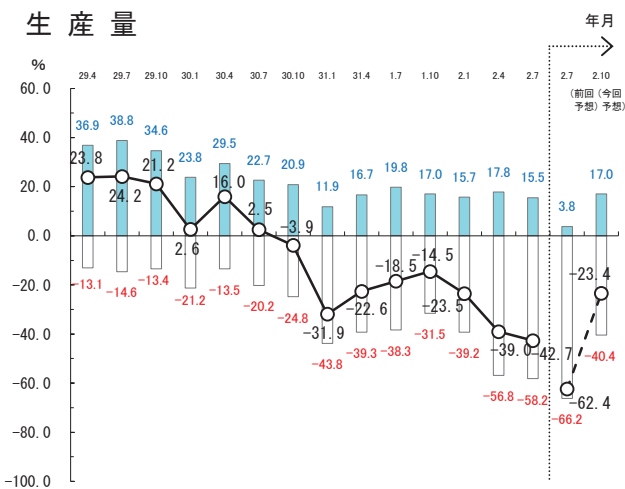
受注引合



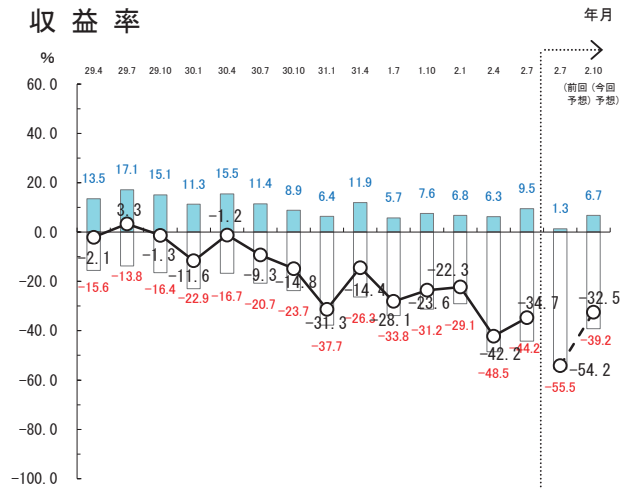
資金繰り



生産量



収益率

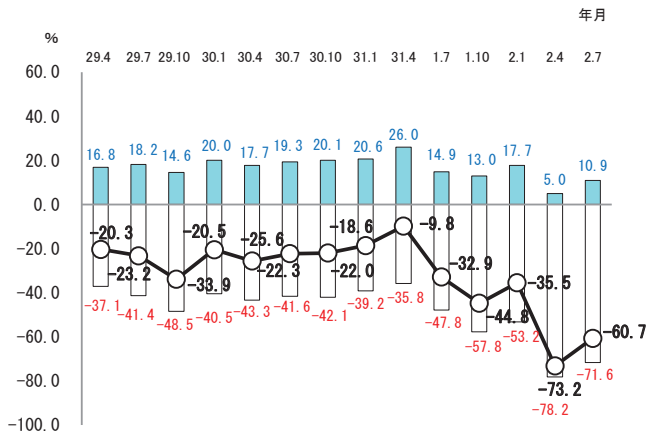


2 非製造業

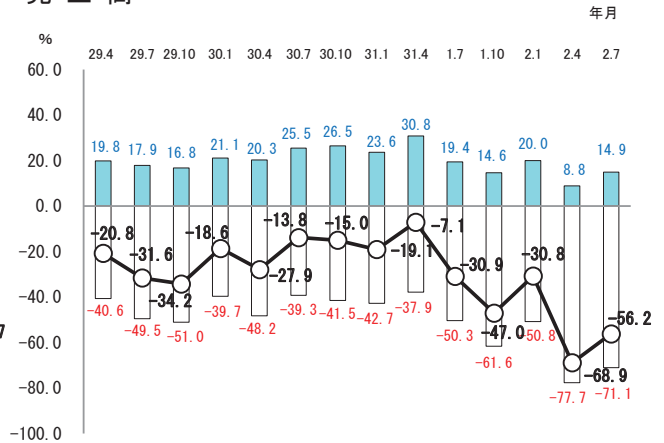
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

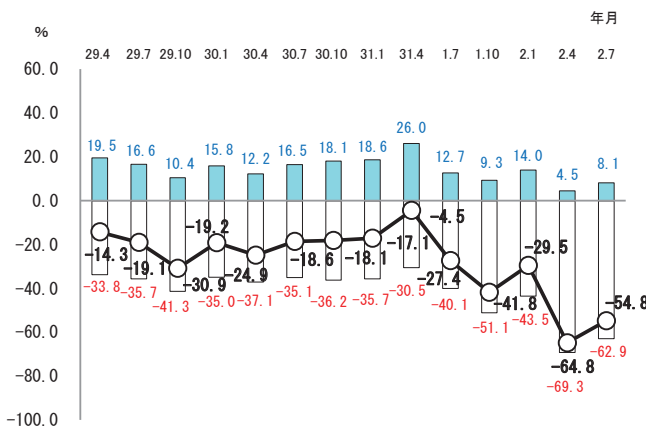
業況



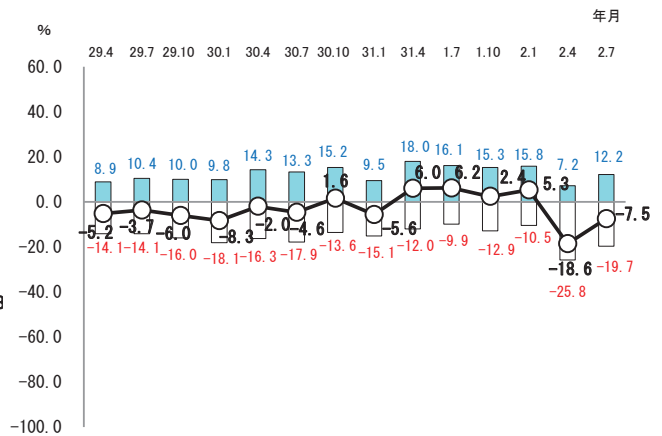
売上高



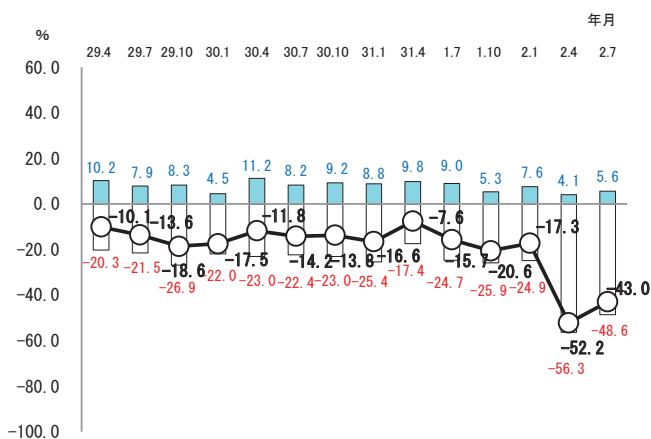
客数 (受注件数・取引先数)



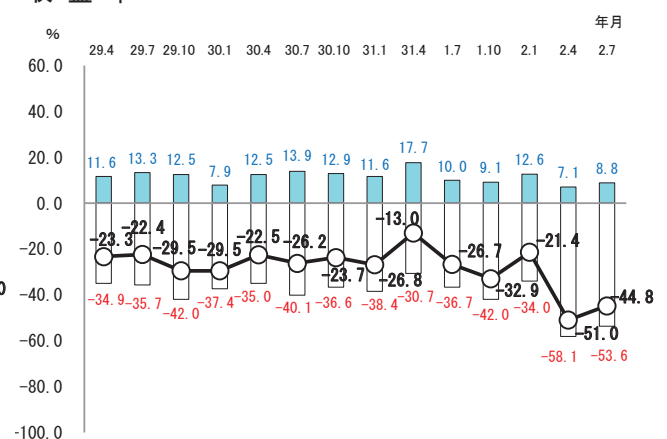
販売価格



資金繰り

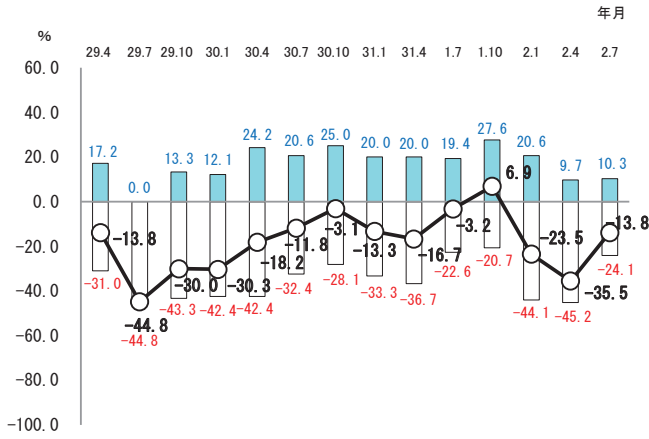


収益率

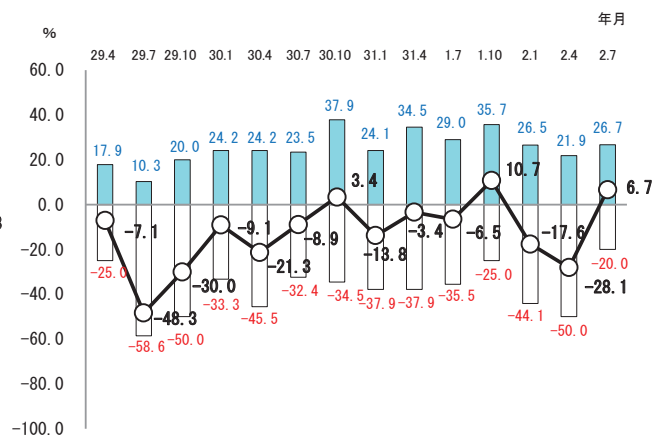


ア 建設業

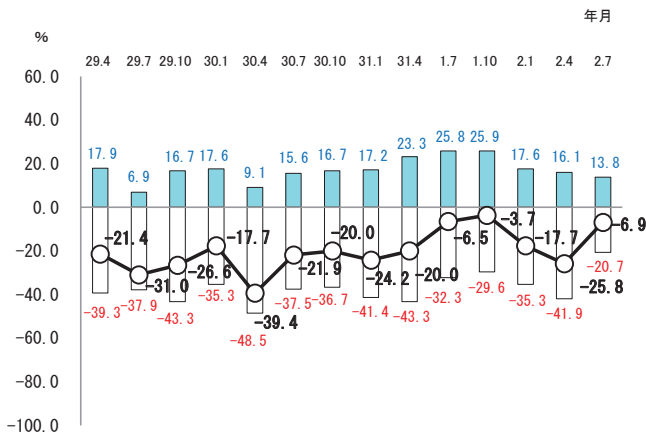
業況



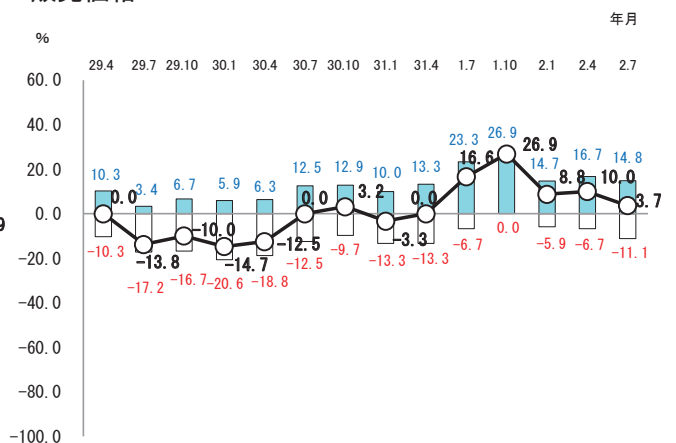
売上高



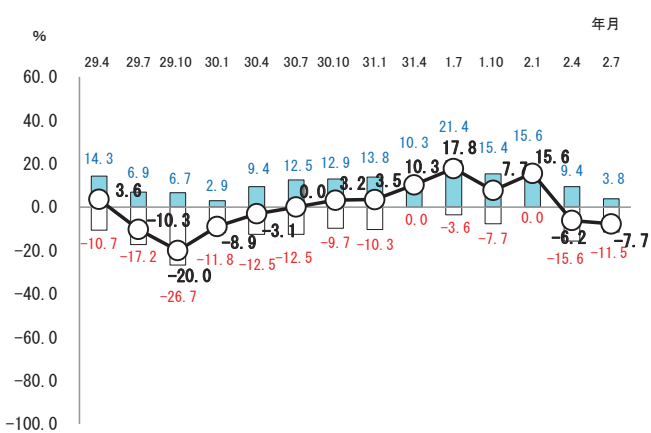
客数 (受注件数)



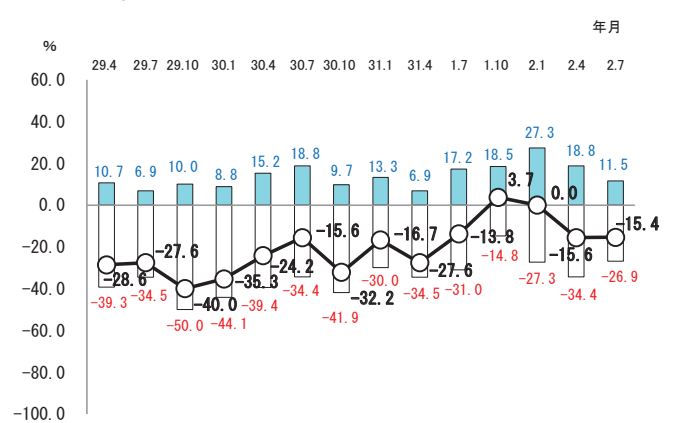
販売価格



資金繰り

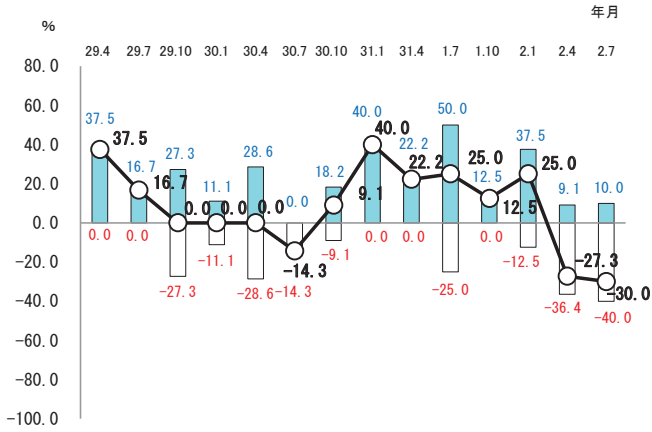


収益率

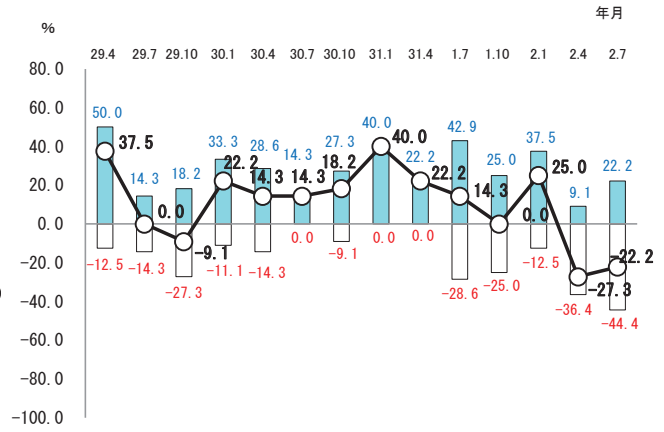


イ 情報サービス業

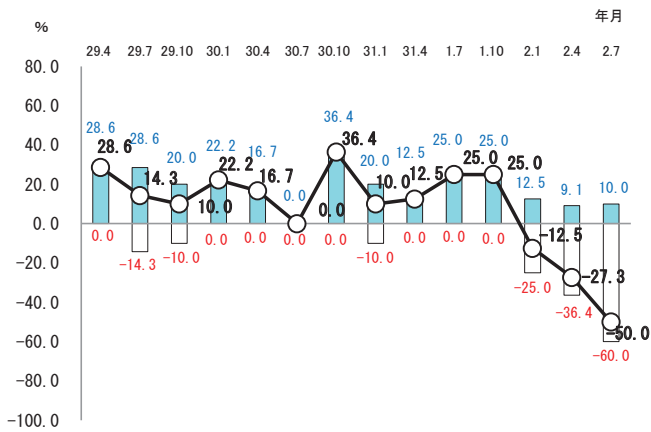
業況



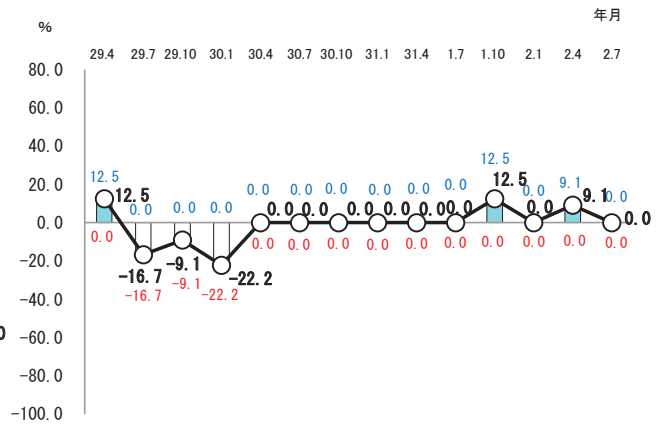
売上高



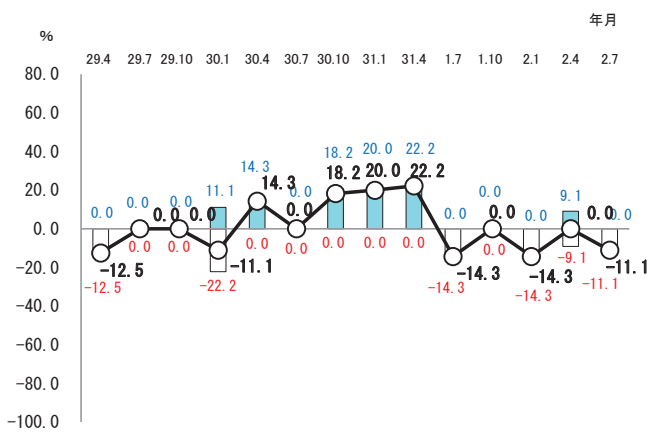
客数 (受注件数)



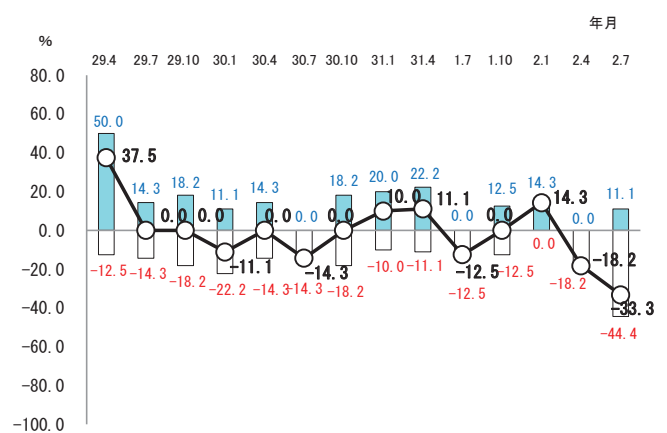
販売価格



資金繰り

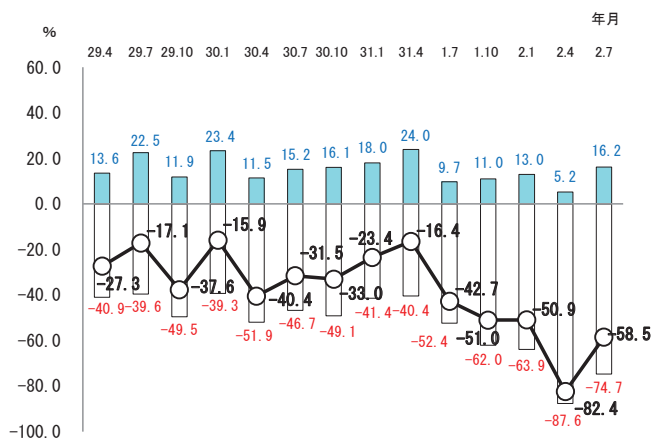


収益率

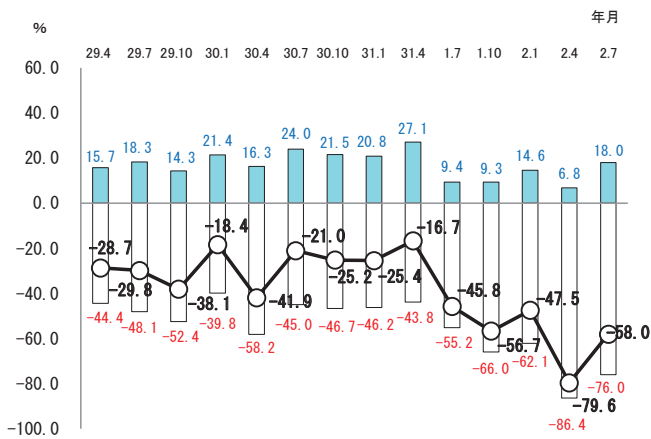


ウ 小売業

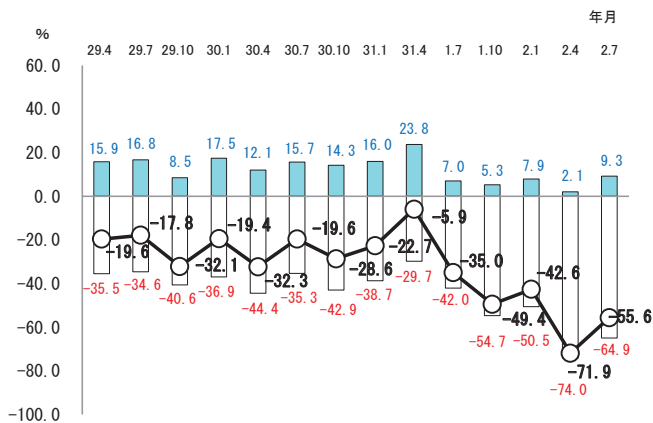
業況



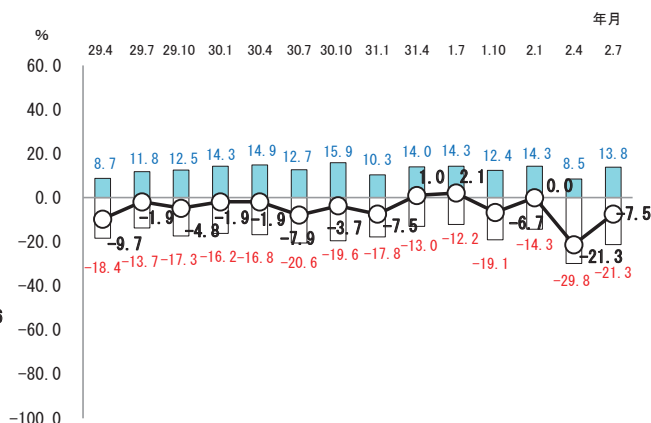
売上高



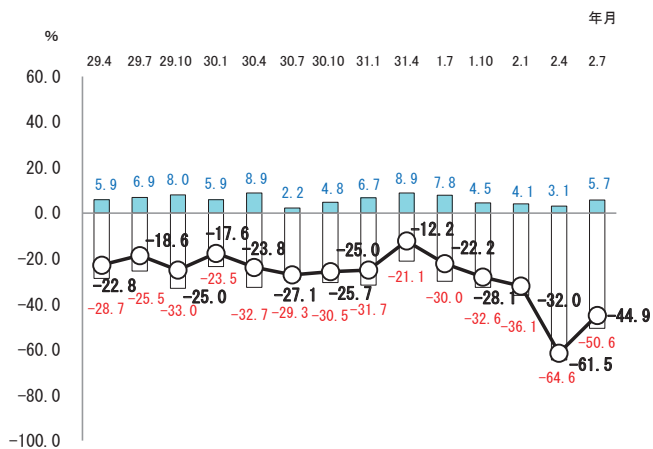
客数



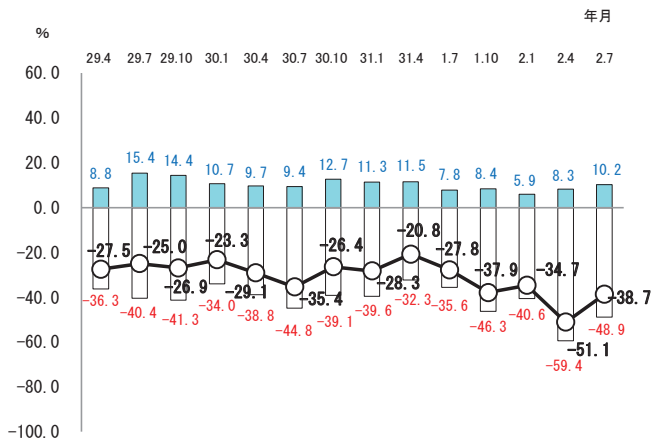
販売価格



資金繰り

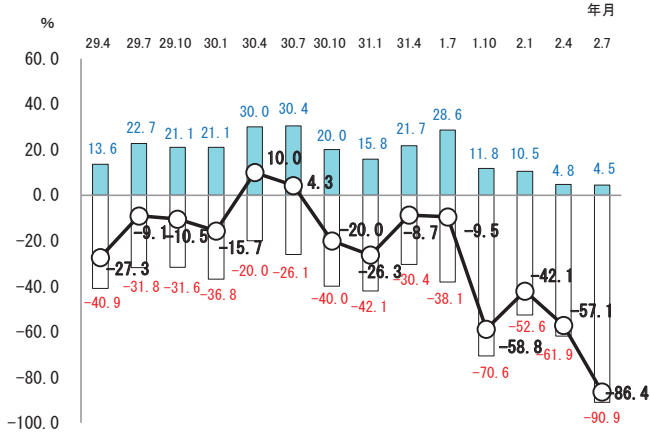


収益率

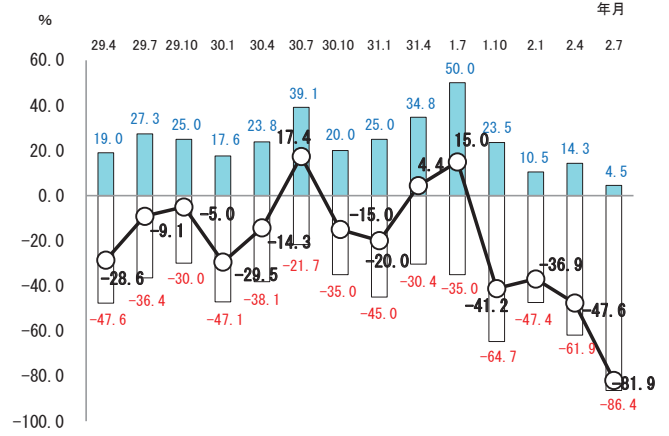


工 卸売業

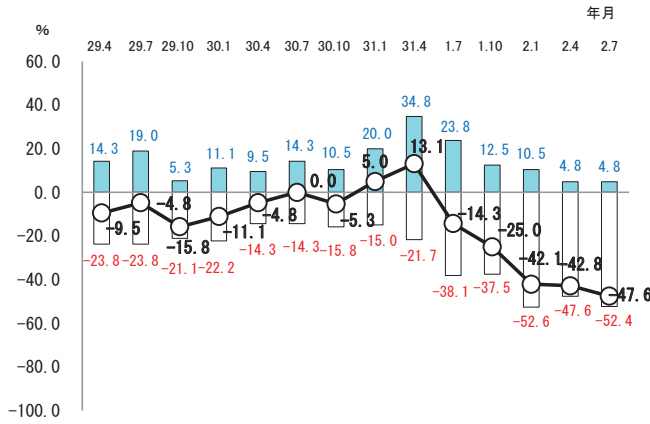
業況



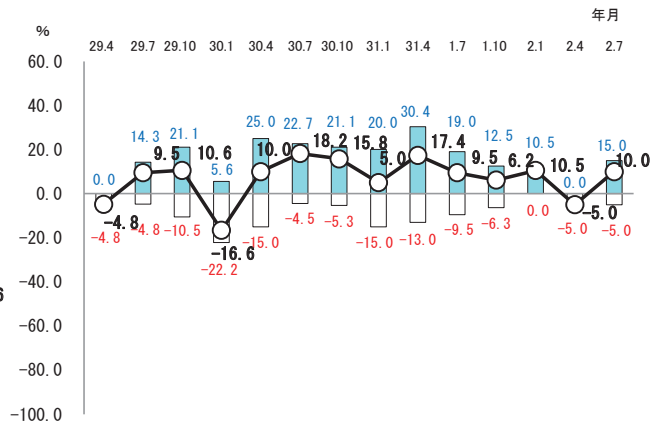
売上高



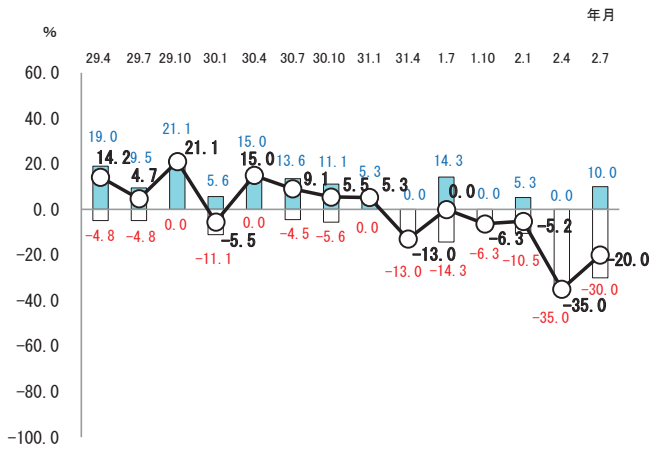
客数 (取引先数)



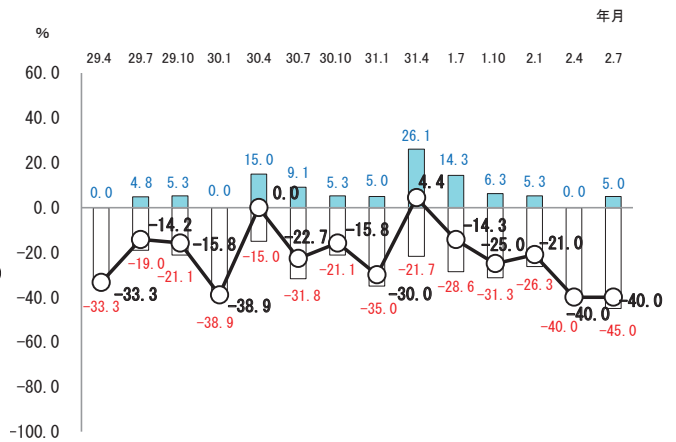
販売価格



資金繰り

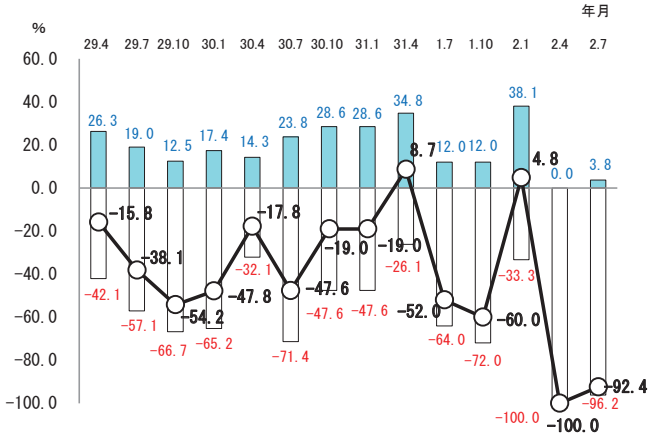


収益率

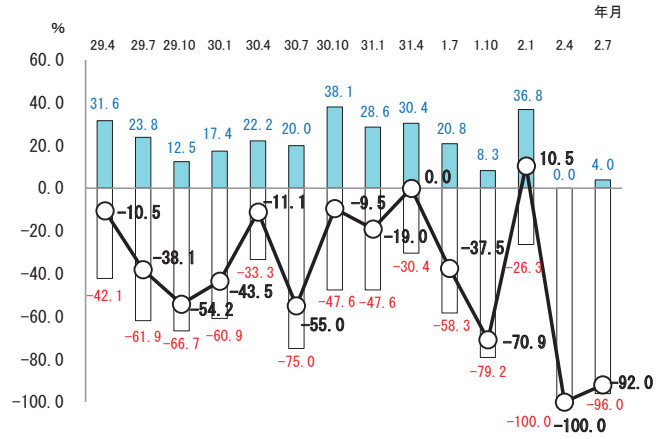


才 飲食業

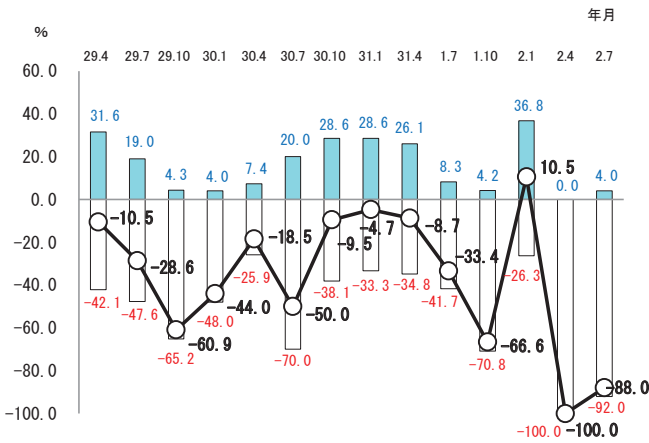
業況



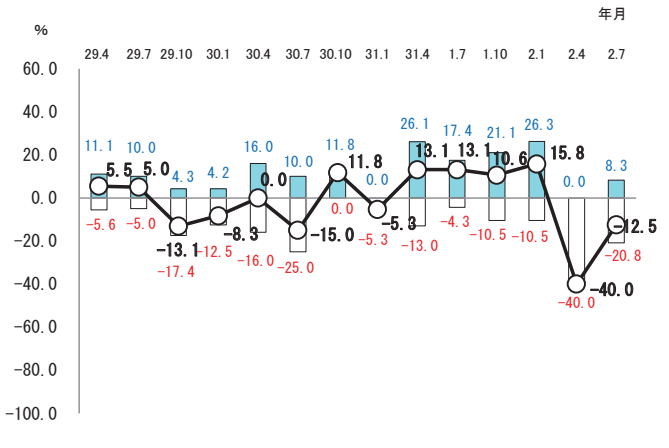
売上高



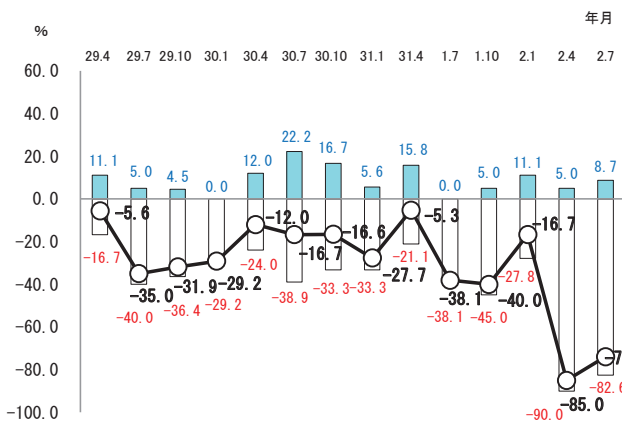
客数



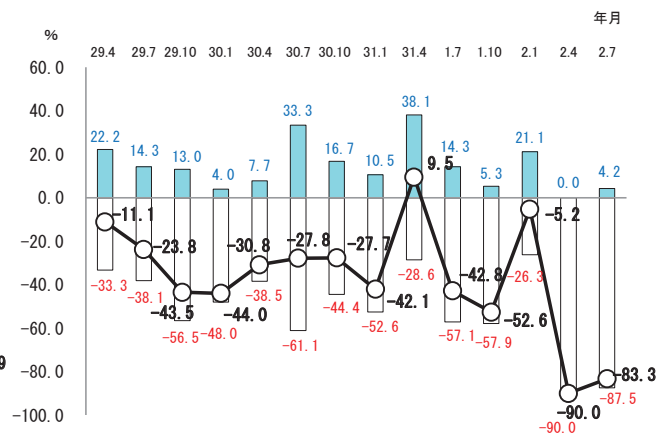
販売価格



資金繰り

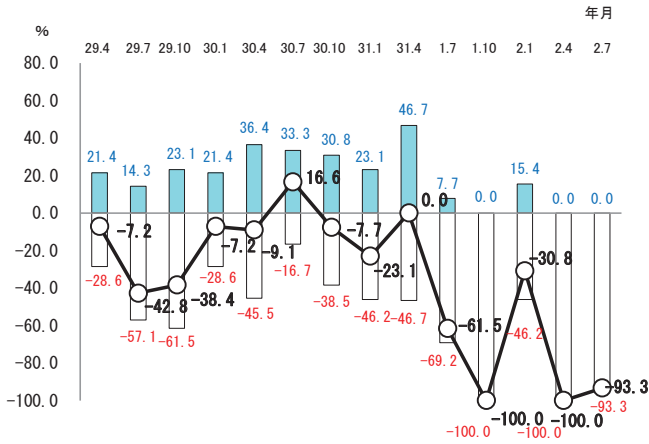


収益率

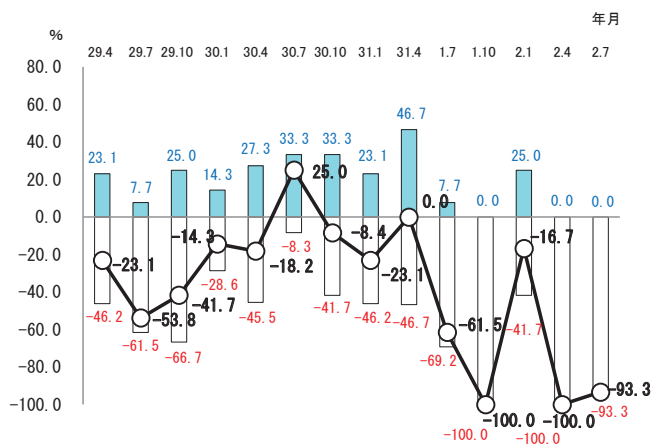


力 宿泊業

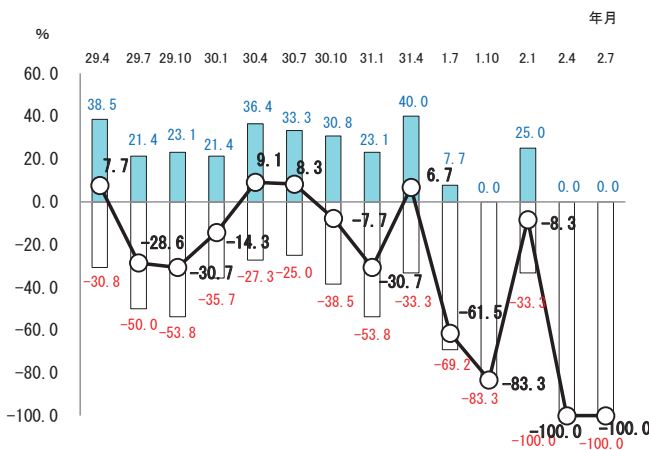
業況



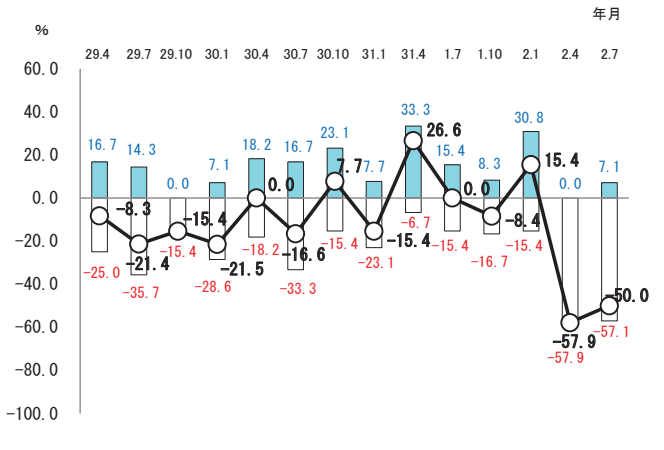
売上高



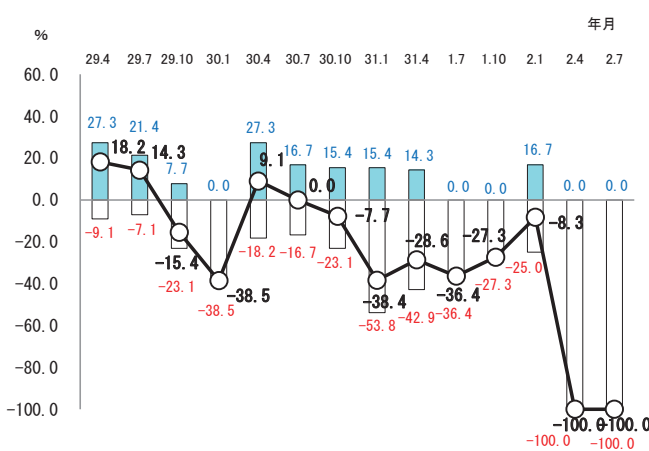
客数



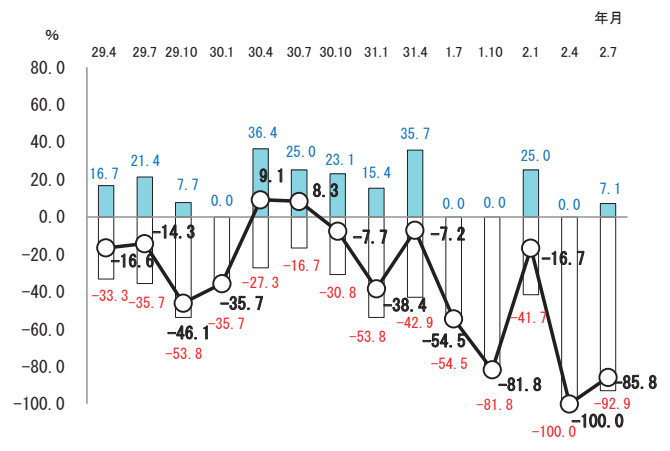
販売価格



資金繰り



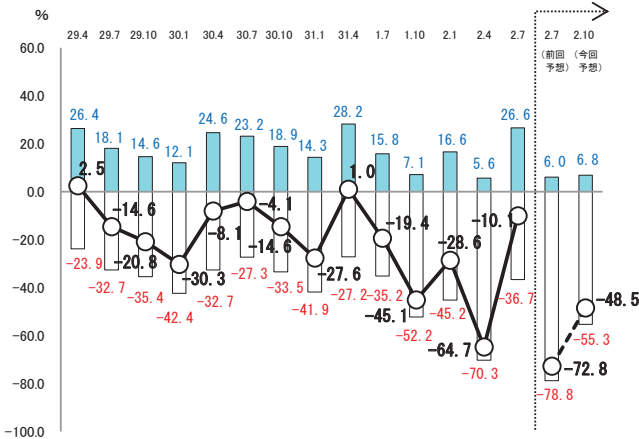
収益率



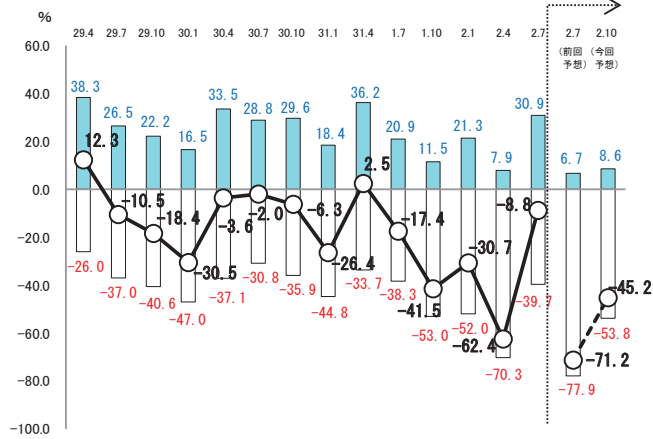
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

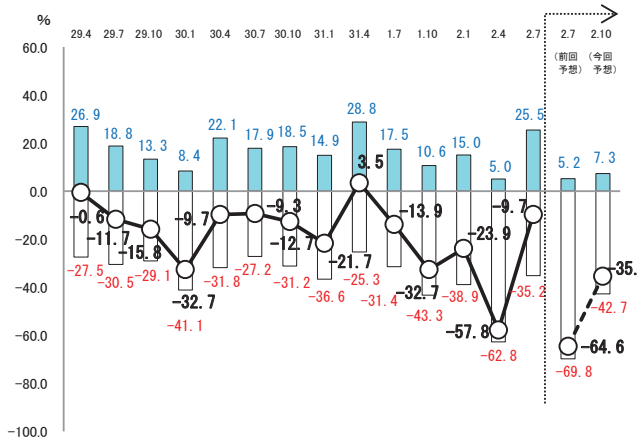
業況



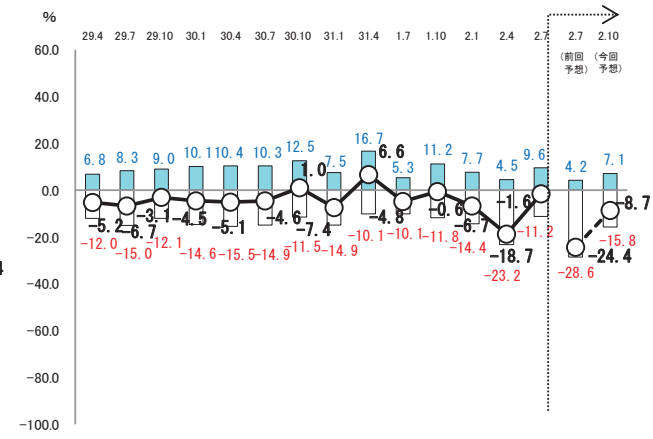
売上高



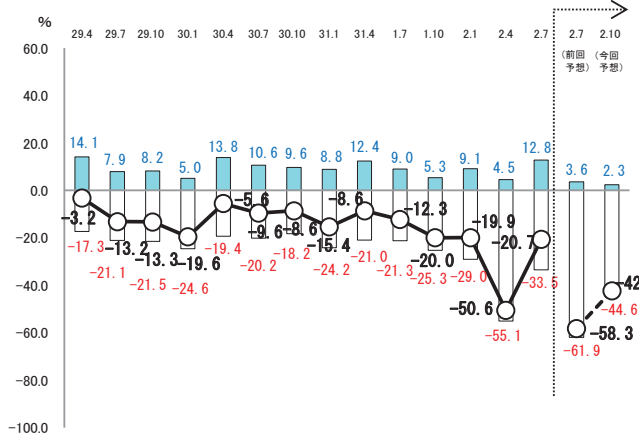
客数 (受件数・取引先数)



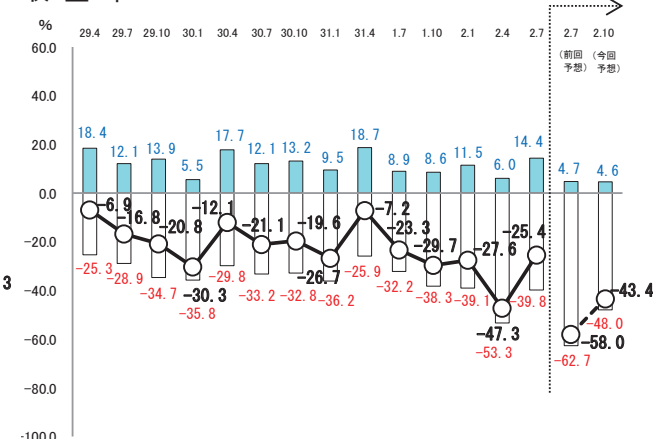
販売価格



資金繰り

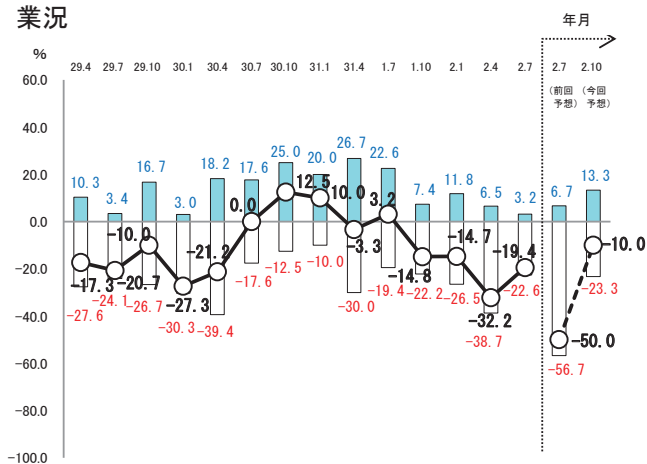


収益率

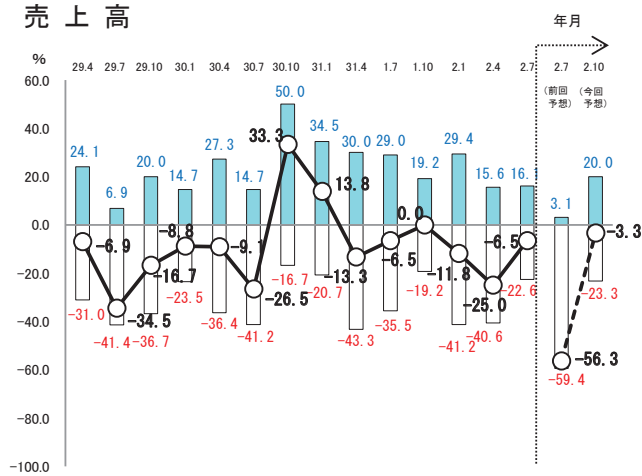


ア 建設業

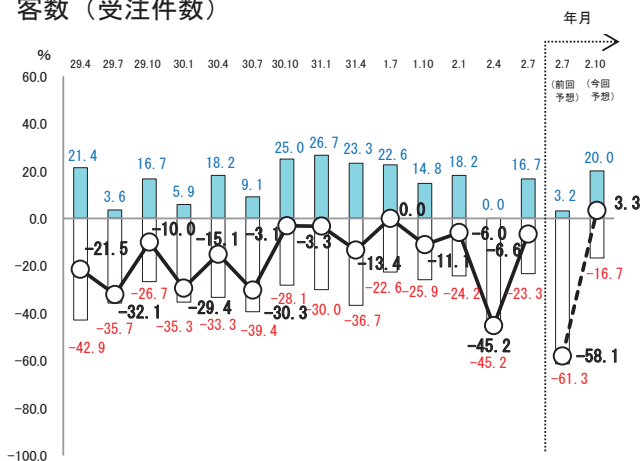
業況



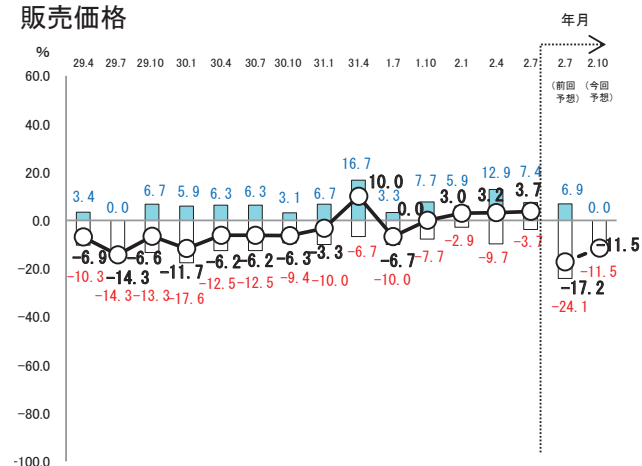
売上高



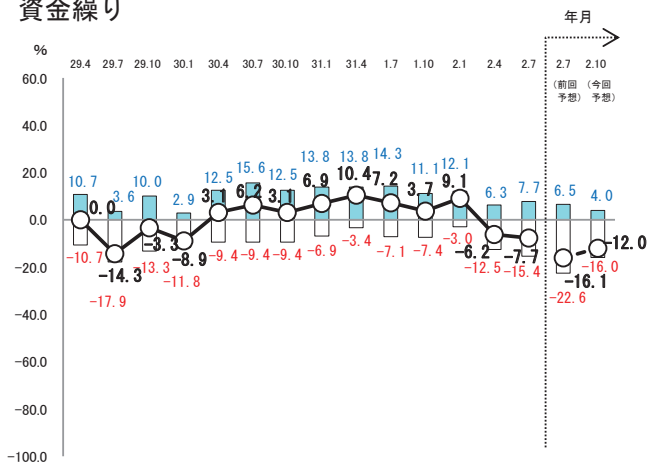
客数 (受件数)



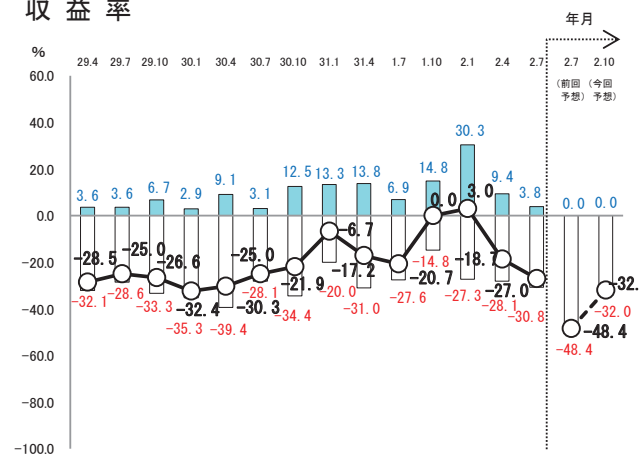
販売価格



資金繰り

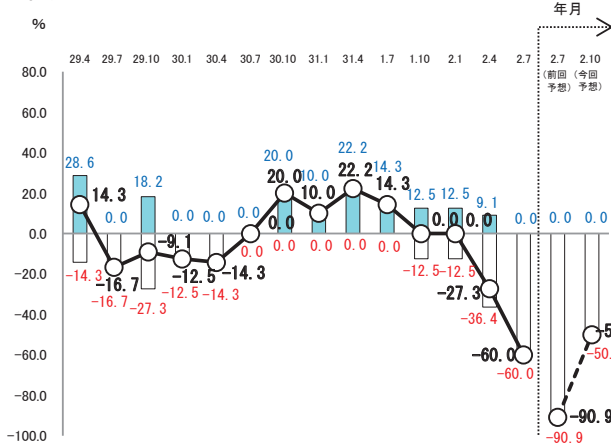


収益率

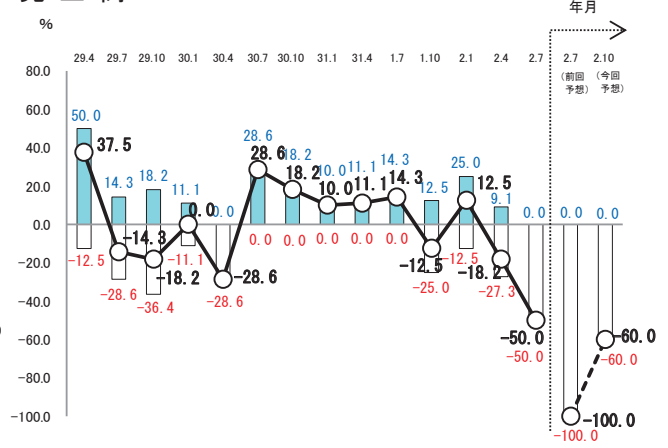


イ 情報サービス業

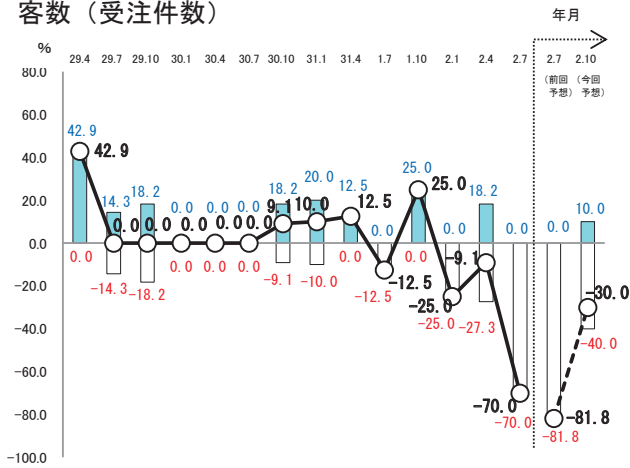
業況



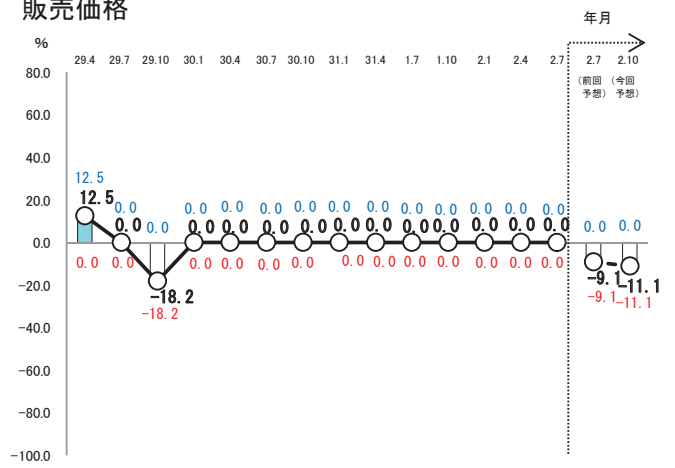
売上高



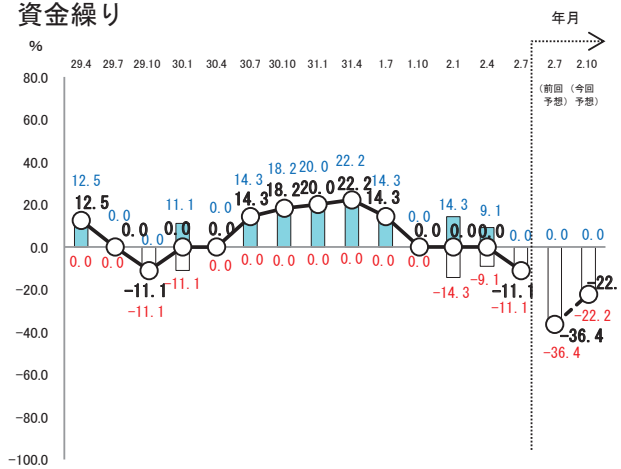
客数 (受件数)



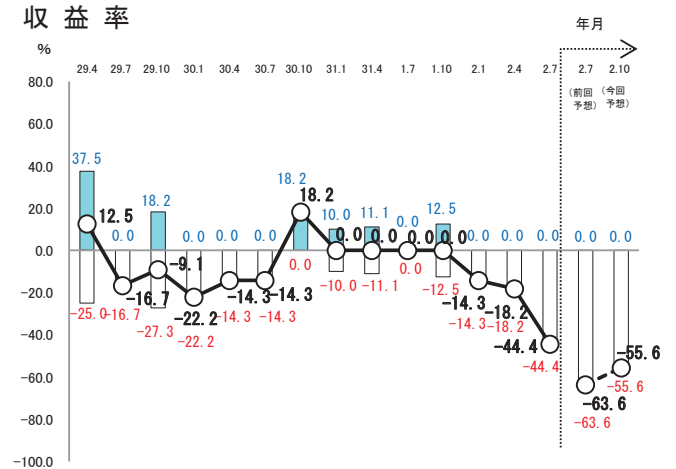
販売価格



資金繰り

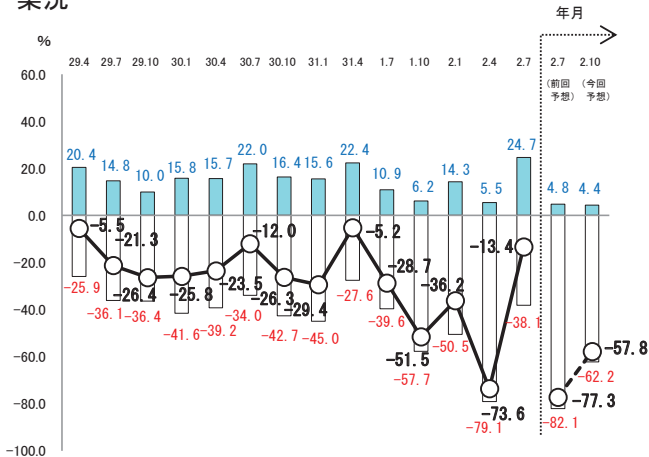


収益率

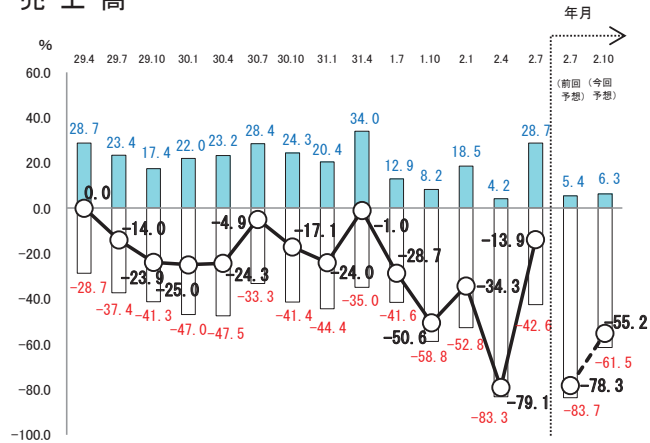


ウ 小売業

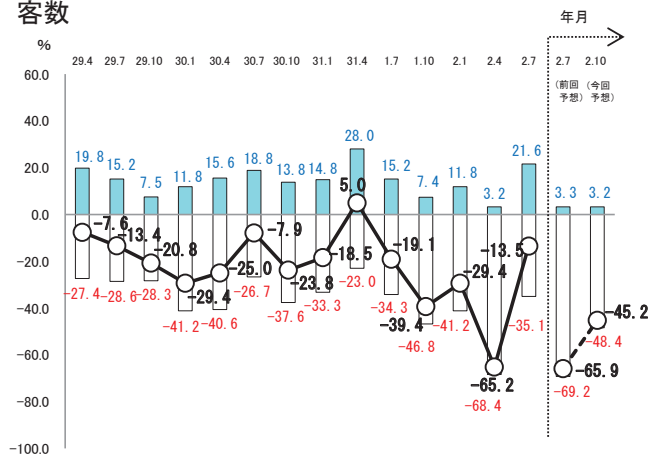
業況



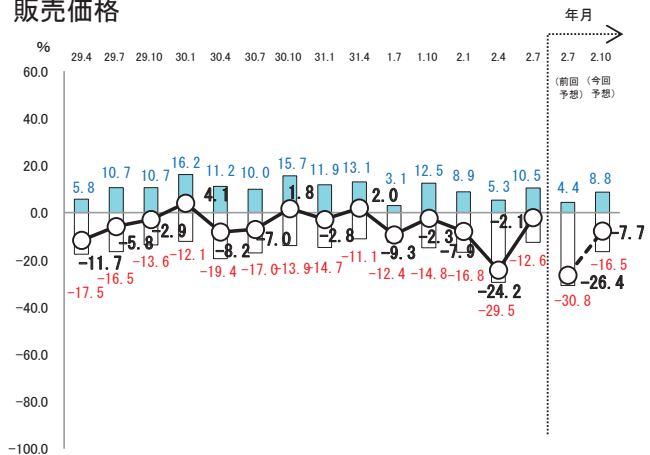
売上高



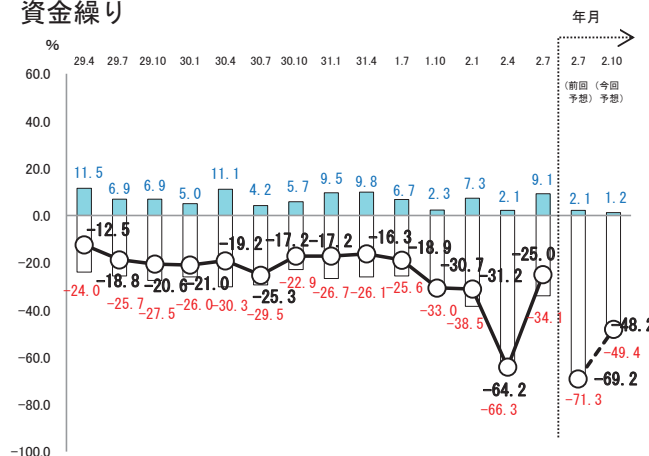
客数



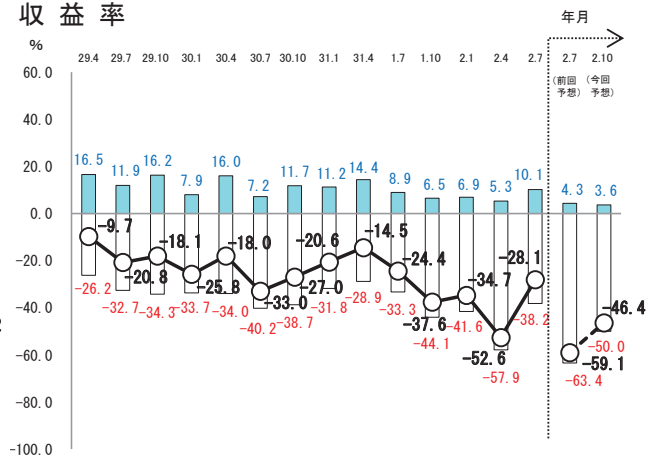
販売価格



資金繰り

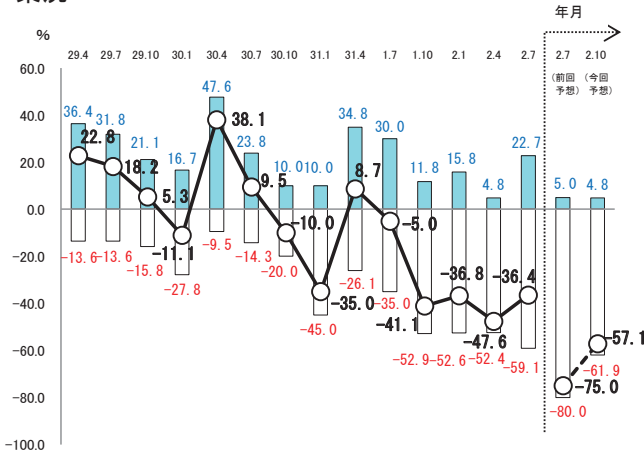


収益率

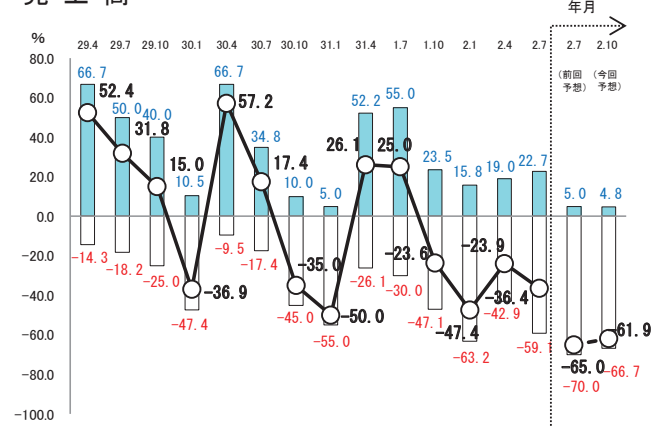


工 卸売業

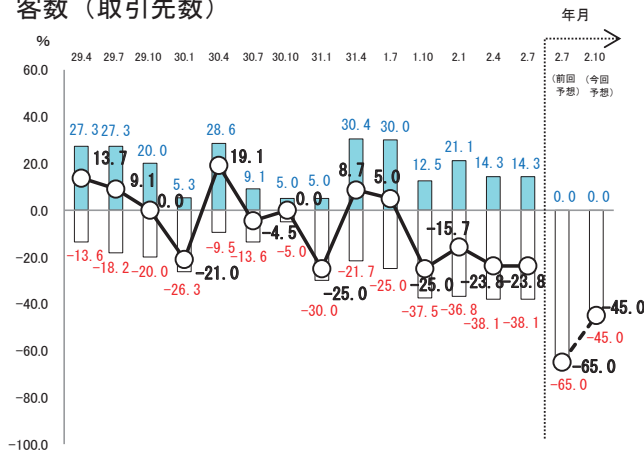
業況



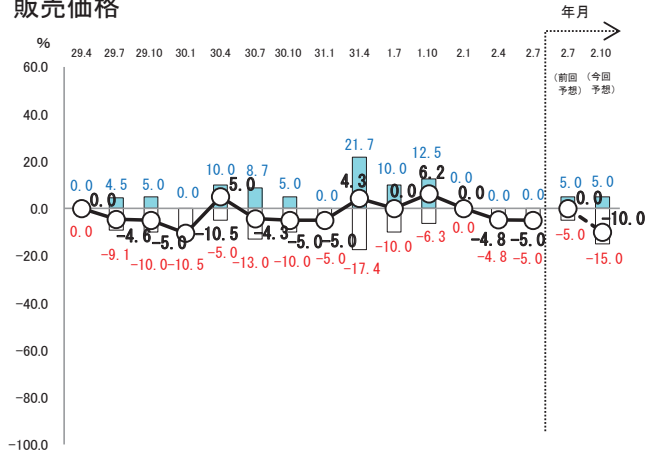
売上高



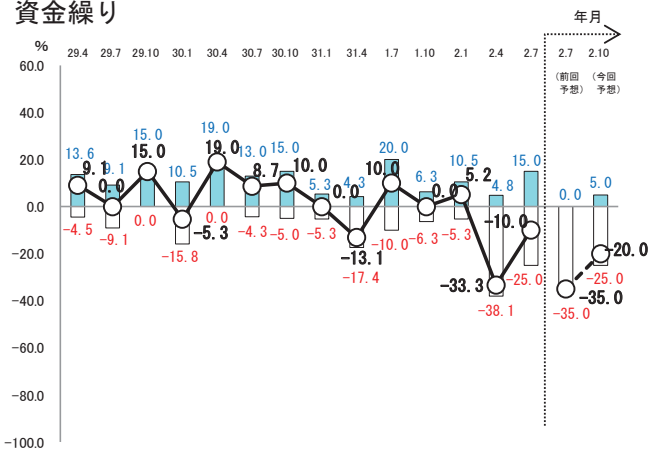
客数 (取引先数)



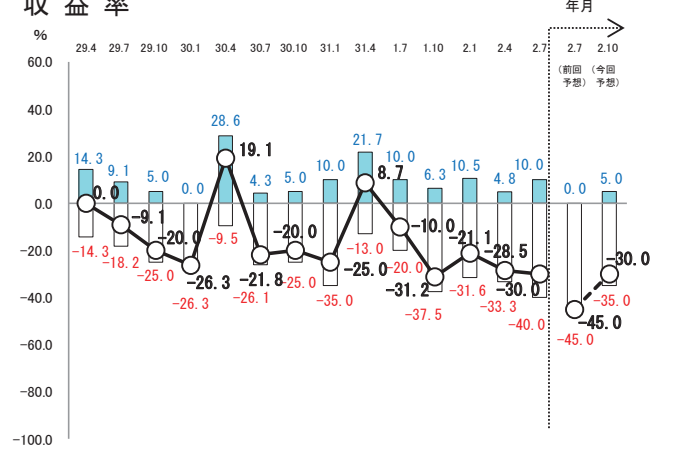
販売価格



資金繰り

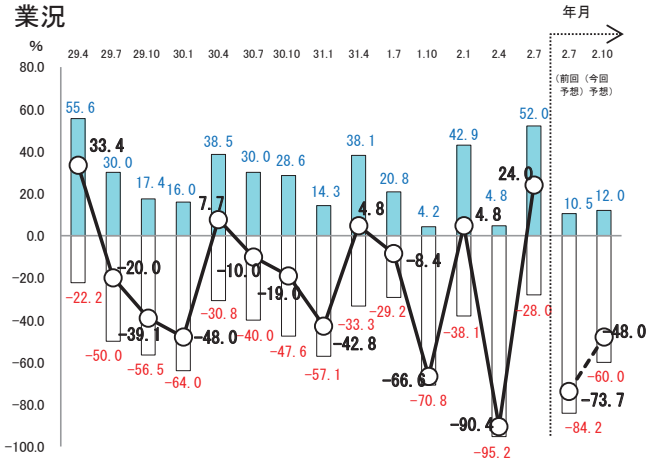


収益率

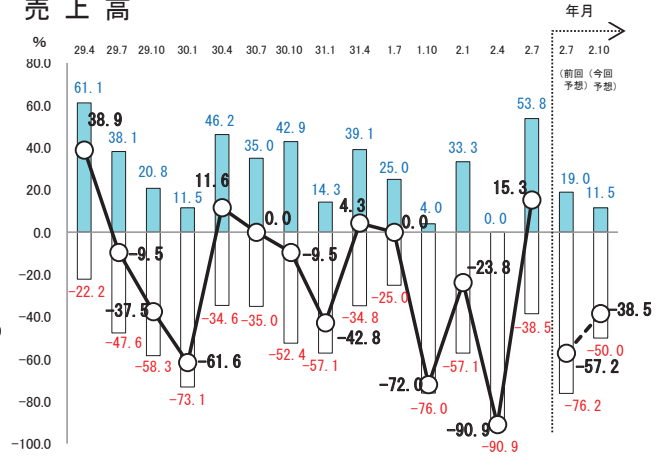


才 飲食業

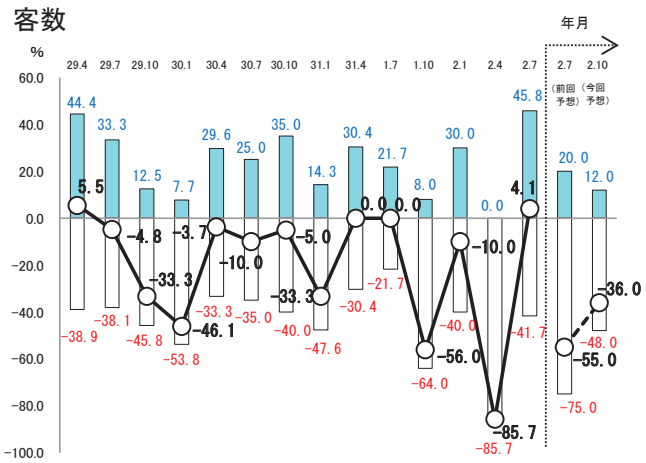
業況



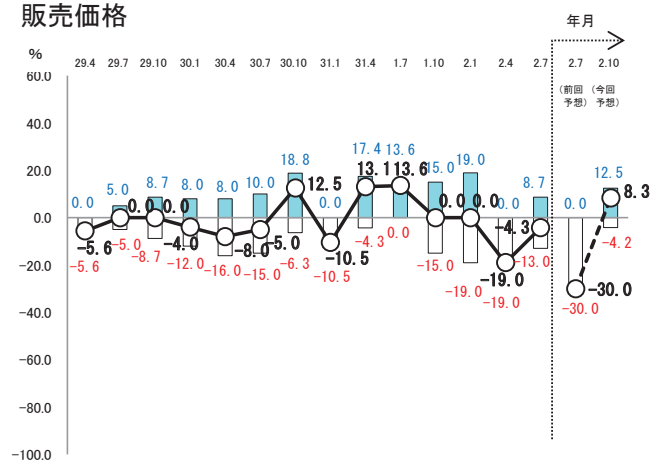
売上高



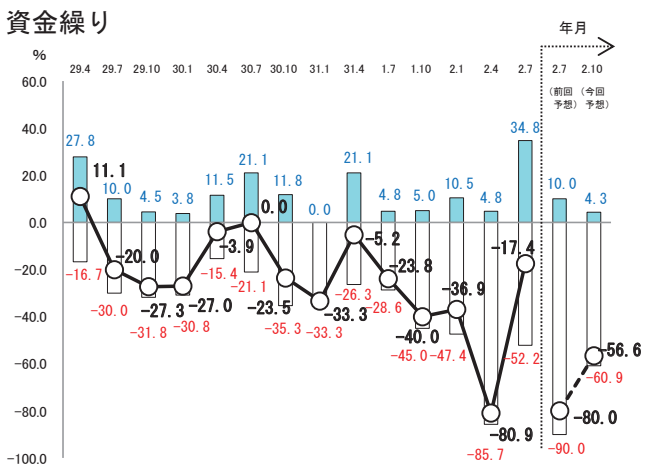
客数



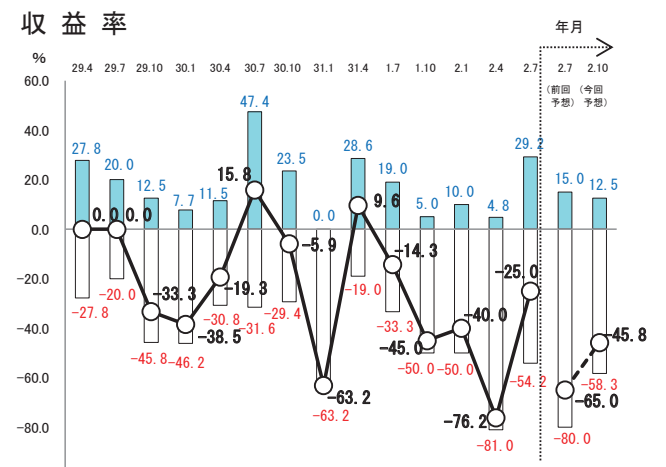
販売価格



資金繰り

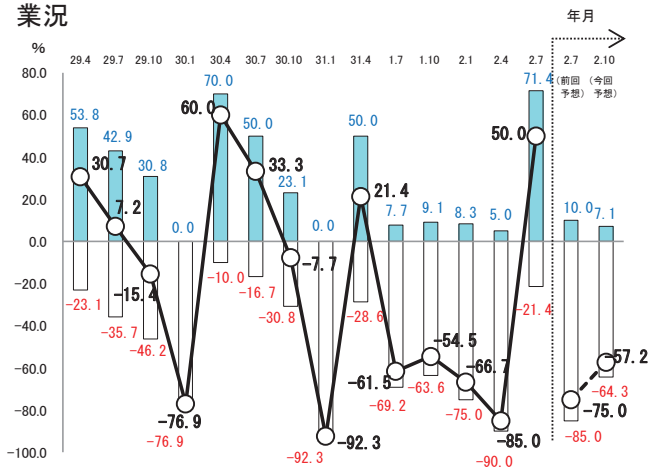


収益率

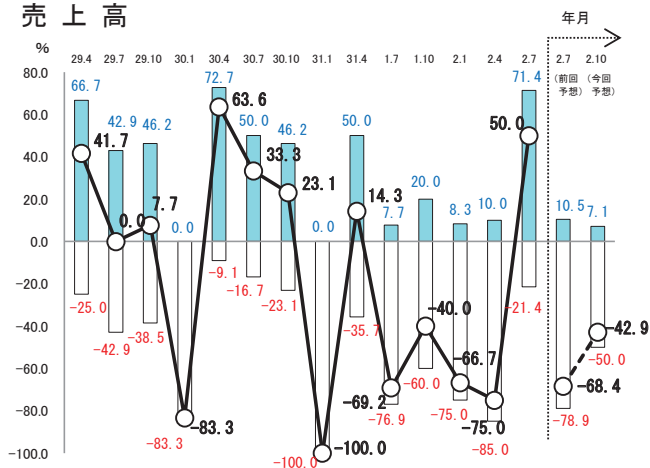


力 宿泊業

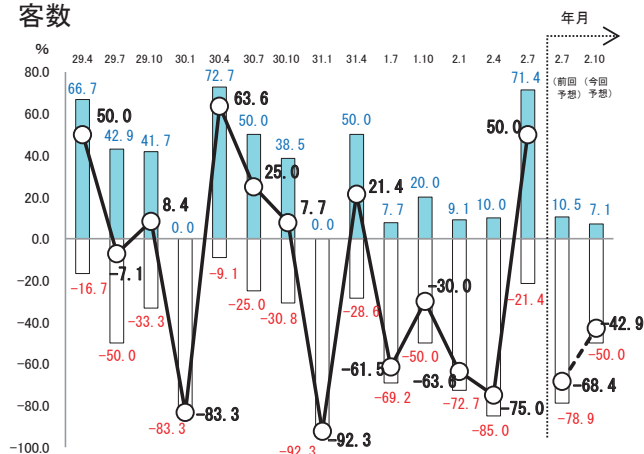
業況



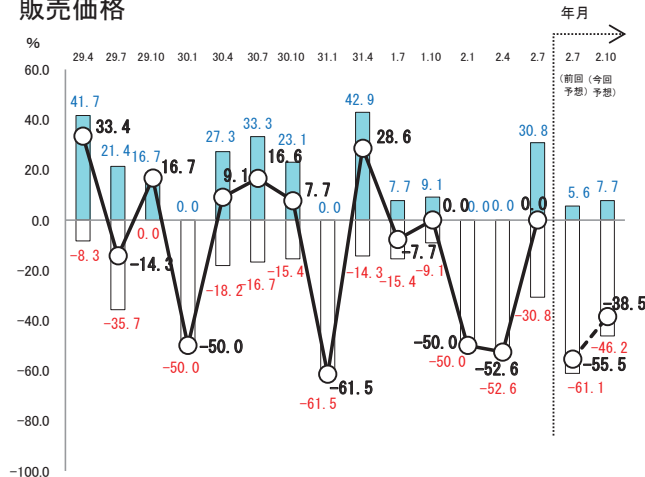
売上高



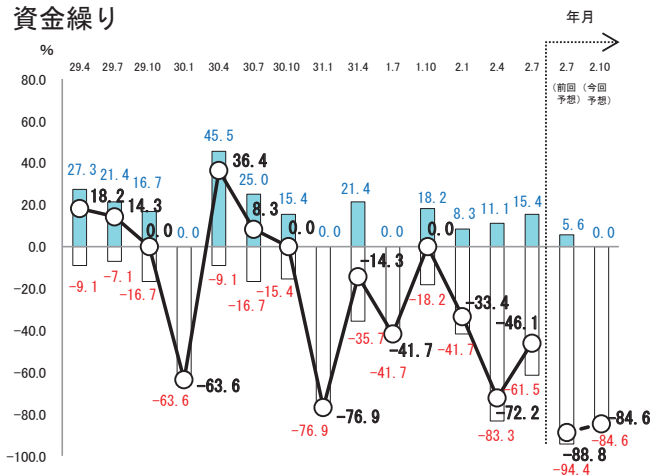
客数



販売価格



資金繰り



収益率

